

# 愛媛県

(愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課 小川遼)

## 1. 新病害虫の発生

### (1) モモヒメヨコバイ(令和5年12月5日特殊報)

モモ栽培園において、葉が白化する症状が認められ、ヨコバイ類が多数寄生しているのが確認された。寄生するヨコバイ類を採集し、神戸植物防疫所に同定依頼した結果、モモヒメヨコバイであることが確認された。

### (2) ミナミトゲヘリカメムシ(令和5年12月5日特殊報)

カンキツ園において、通常の果樹カメムシ類と異なるカメムシが多数寄生する状況が見られ、加害された果実は異常着色や落果、内部のス上がり症状も確認された。このため、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県ではカンキツ加害が初確認となるミナミトゲヘリカメムシであった。

### (3) トマト黄化病(令和6年3月15日特殊報)

タバココナジラミの発生が多い施設ミニトマト栽培圃場において、中位葉に黄化症状を示す株が多数確認された。神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県では初確認となるトマト退緑ウイルス (Tomato chlorosis virus, ToCV) が検出され、「トマト黄化病」であることが判明した。病徴は下～中位葉に現れており、苦土欠乏症と類似している。

## 2. 水稲

### (1) 葉いもち

早期栽培及び普通期栽培ともに、7月から発生が確認され、急激に発生圃場が増加したものの、8月にかけて病勢は衰えた。発生量はやや多であった。

### (2) 穂いもち

早期栽培では、葉いもち発生圃場を中心に発生が確認されたが、発病程度の高い圃場は見られなかった。普通期栽培では、南予地域で広範囲に発生が確認され、一部でやや発生が多い圃場も見受けられたが、東中予地区平野部での発生は限定的であった。発生量は早期栽培、普通期栽培ともに並であった。

### (3) 紋枯病

早期栽培で8月に発生が確認された。普通期栽培では、8月から発生が確認され、上位進展している圃場も確認された。発生量は早期栽培やや多、普

通期栽培並であった。

### (4) 稲こうじ病

早期栽培では、発生は確認されなかった。普通期栽培では、発生の多い地域を中心に広く発生が認められ、一部程度の高い圃場も確認された。発生量は早期栽培、普通期栽培ともに並であった。

### (5) セジロウンカ

予察灯では6月下旬に初誘殺されたが飛来量は少なかった。本田での発生は、早期栽培、普通期栽培ともに7月から発生が確認された。多発圃場は確認されず発生量は概ねやや少で経過した。

### (6) トビイロウンカ

予察灯での誘殺は7月上旬に、本田では8月から発生を確認した。圃場での発生密度は低く、8月から発生が確認され、普通期栽培ではやや密度が高い圃場が確認され、坪枯被害が一部認められた。発生量は早期栽培で並、普通期栽培でやや少であった。

### (7) コブノメイガ

早期栽培及び普通期栽培ともに、7月下旬頃から被害が確認されたが、発生程度は低かった。普通期栽培では8月以降、被害はやや増加し平年並となった。発生量は早期栽培でやや少、普通期栽培で並であった。

### (8) 斑点米カメムシ類

早期栽培圃場では、7月の畦畔雑草での発生地点率は低かった。普通期栽培圃場では、8月の畦畔雑草での発生地点率は平年並であったが、発生虫数はやや少であった。発生量は早期栽培でやや少、普通期栽培で並であった。なお、発生種は、アカスジカスミカメが多く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシとなっており、県下でイネカメムシの確認事例が増加し、優占種となっている圃場も見られている。

## 3. 麦

### (1) 赤かび病

裸麦では4月下旬頃から発生が散見され、5月上旬の主要産地の広域調査では並の発生であった。また、小麦でも5月上旬から発生が見られたが、発生の多い圃場は見られなかった。発生量は平年並であった。

## 4. 大豆

### (1)ハスモンヨトウ

8月頃から食害葉が散見され始め、9月中旬以降に被害葉が増加した。発生量はやや少であった。

## 5. 果樹

### (1)カンキツ・黒点病

6月から発病が認められたものの、発病程度はやや少から平年並で推移した。また、8月下旬以降、降雨が少なく、後期の発病は少なかったため、発生程度はやや低かった。発生量は並であった。

### (2)カンキツ・かいよう病

2月に行った越冬病斑調査では、発生圃場率は平年並、発病度はやや多であり、5月の新梢における発病度、発病葉率はともに平年並であった。6月以降も平年並で推移した。

### (3)カンキツ・ミカンハダニ

越冬虫数は平年並、4月の発生量は平年並に推移した。5月において寄生葉率はやや少となり、6月以降の発生量は平年並からやや少となった。発生量はやや少であった。

### (4)カンキツ・ゴマダラカミキリ

5月下旬から県内各地で成虫を確認した。一部で発生が多い園地がみられたが、発生量は平年並であった。

### (5)かき・炭疽病

結果母枝の越冬病斑発生圃地率はやや多であった。果実での発病度は平年並となったが、一部発生の多い園地が認められた。発生量はやや多であった。

### (6)かき・角斑落葉病

7月以降の降雨により発病が助長されたが、発生量は平年並であった。

### (7)キウイフルーツ・かいよう病

4月から一部の園で樹液の漏出が認められた。定点調査では漏出個所数は昨年より多くなった。葉の発生は昨年より多く、新梢での枯死被害がみられた。前年よりも発生はやや多かった。

### (8)果樹共通・果樹カメムシ類

越冬密度及び越冬成虫確認地点率は平年並であったが、フェロモントラップでの誘殺数が急増した。その後も8月中旬まで予察灯・フェロモントラップでの誘殺数が非常に多く推移し、ナシやキウ

イフルーツ、カキなどで被害が発生した。8月中旬以降、発生量は減少し、9月はやや少～少発生であった。発生量は少であった。

## 6. 野菜

### (1)冬春トマト・タバココナジラミ

10月から発生が認められ、寄生株率は10月で平年並であったが、11月～2月には減少し、3～5月では増加した。発生量はやや少であった。

### (2)夏秋トマト・灰色かび病

6月中旬から発生が認められた。葉での発病度は7月で高く推移していたが、8月以降に減少した。発生量は少であった。

### (3)夏秋トマト・タバココナジラミ

6月～8月に発生は認められなかったが、9月に発生が確認された。発生量は並であった。

### (4)夏秋ナス・ハダニ類

期間を通して発生が認められた。寄生葉率は、6月は平年並であったがその後に増加し、7月～8月は多となり、その後減少して9月は少となった。発生量は並であった。

### (5)冬春きゅうり・べと病

抑制栽培では、11月から発生が認められたが、やや少の発生となった。促成栽培では、12月から発生が認められ、5月以降に発病葉率は平年より高く推移したが、平年並の発生であった。半促成栽培では、5月から発生が認められ、発病葉率は平年並の発生であった。

### (6)冬春きゅうり・褐斑病

抑制栽培では、10月から発生が認められ、発病葉率は平年並であったが、11月での発病葉率はやや少であった。半促成栽培及び促成栽培では、発生は認められなかった。発生量はやや少から並であった。

### (7)夏秋きゅうり・べと病

6月から発生が認められ、発病葉率は6～7月、9月は平年並、8月はやや多となった。発生量は平年並であった。

### (8)夏秋きゅうり・褐斑病

6月から発生が認められ、発病葉率は6月、8月に多、9月にやや多となった。発生量は多であった。

### (9)夏秋きゅうり・アブラムシ類

6月から発生が認められ、1葉当たりの寄生虫数が8月で最も多くなり、9月は減少傾向で推移した。

発生量は並であった。

**(10)夏秋きゅうり・アザミウマ類**

ミナミキイロアザミウマは、6月から発生が認められた。1葉当たり寄生虫数は当初からやや高く推移したが、7月以降は減少傾向で推移した。発生量はやや少であった。

**(11)タマネギ・白色疫病**

定点調査では発生は確認されなかったが、広域調査において一部圃場で発生が確認された。発生量は少であった。

**(12)タマネギ・べと病**

2月まで発生が確認されなかったが、3月以降に発病株率が平年より高く推移した。発生量は多であった。(令和6年3月29日：注意報)

**(13)サトイモ・アブラムシ類**

6月から発生が認められ、1株当たり寄生虫数は6月に平年より少なく、7月から9月には平年より多く推移した。発生量は多であった。

**(14)サトイモ・ハダニ類**

栽培期間の前半に多く発生し、1株当たり寄生虫数は7月が最も多く、8月以降は減少した。発生量は多であった。

**(15)サトイモ・ハスモンヨトウ**

7月から発生が認められ、食害面積率は平年並に推移した。発生量は並であった。

**(16)イチゴ・アザミウマ類**

栽培期間を通して多く発生が認められ、寄生花率は、11月から4月に平年より多く推移したが、10月と5月でやや少となった。発生量は多であった。

**(17)イチゴ・ハダニ類**

栽培期間を通して発生が認められ、寄生株率は定植直後の10月から2月までの栽培期間前半は少から並で推移し、3月から5月の後半は並から多で推移した。発生量は並であった。

令和5年度 主要病害虫発生状況(愛媛県)

単位: ha

| 作物名 (作付面積)<br>病害虫名     | 発生面積    | 摘 要 | 作物名 (作付面積)<br>病害虫名  | 発生面積 | 摘 要 |
|------------------------|---------|-----|---------------------|------|-----|
| <b>早期水稲 (2, 837)</b>   |         |     | <b>カキ (572)</b>     |      |     |
| いもち病 (葉いもち)            | 1, 891  | やや多 | 炭疽病                 | 334  | やや多 |
| いもち病 (穂いもち)            | 709     | 並   | うどんこ病               | 487  | 並   |
| 紋枯病                    | 1, 591  | やや多 | カキノヘタムシガ            | 95   | 並   |
| ごま葉枯病                  | 236     | 並   | <b>果樹共通 (-)</b>     |      |     |
| イネミズゾウムシ               | 709     | やや少 | 果樹カメムシ類             | -    | 少   |
| コブノメイガ                 | 392     | やや少 | <b>冬春トマト (32)</b>   |      |     |
| セジロウンカ                 | 1, 407  | やや少 | 灰色かび病               | -    | 多   |
| ツマグロヨコバイ               | 367     | やや少 | 葉かび病                | -    | 並   |
| ニカメイガ                  | 24      | 並   | タバココナジラミ (全タイプ)     | -    | やや少 |
| 斑点米カメムシ類               | 863     | やや少 | <b>夏秋トマト (112)</b>  |      |     |
| ヒメトビウンカ                | 1, 223  | 並   | 灰色かび病               | 67   | 並   |
| イチモンジセセリ               | 473     | 並   | 葉かび病                | 22   | 並   |
| <b>普通期水稲 (10, 263)</b> |         |     | かいよう病               | 1    | 並   |
| いもち病 (葉いもち)            | 6, 482  | やや多 | タバココナジラミ (全タイプ)     | 25   | 並   |
| いもち病 (穂いもち)            | 2, 161  | 並   | オンシツコナジラミ           | 25   | 並   |
| 紋枯病                    | 5, 811  | 並   | <b>夏秋ナス (137)</b>   |      |     |
| 稲こうじ病                  | 2, 161  | 並   | うどんこ病               | 98   | 少   |
| ごま葉枯病                  | 1, 080  | 並   | アブラムシ類              | 55   | やや多 |
| イネミズゾウムシ               | 570     | 並   | アザミウマ類              | 40   | 少   |
| コブノメイガ                 | 4, 524  | 並   | <b>冬春キュウリ (34)</b>  |      |     |
| セジロウンカ                 | 5, 842  | やや少 | べと病                 | -    | 並   |
| ツマグロヨコバイ               | 2, 129  | 並   | うどんこ病               | -    | 並   |
| トビイロウンカ                | 281     | やや少 | ミナミキイロアザミウマ         | -    | 並   |
| 斑点米カメムシ類               | 5, 734  | 並   | <b>夏秋キュウリ (189)</b> |      |     |
| ヒメトビウンカ                | 5, 791  | 並   | べと病                 | -    | 並   |
| ニカメイガ                  | 52      | 並   | うどんこ病               | -    | 多   |
| イチモンジセセリ               | 259     | やや少 | アブラムシ類              | -    | 並   |
| <b>麦 (2, 070)</b>      |         |     | ミナミキイロアザミウマ         | -    | やや少 |
| 赤かび病                   | 180     | 並   | <b>タマネギ (300)</b>   |      |     |
| うどんこ病                  | 135     | やや少 | 白色疫病                | 2    | 少   |
| 裸黒穂病 (黒穂病類)            | 500     | やや少 | べと病                 | 61   | 多   |
| <b>大豆 (346)</b>        |         |     | <b>サトイモ (428)</b>   |      |     |
| ハスモンヨトウ                | 271     | やや多 | アブラムシ類              | 321  | 多   |
| <b>カンキツ (11, 590)</b>  |         |     | ハダニ類                | 336  | 多   |
| そうか病                   | 563     | 並   | ハスモンヨトウ             | 285  | 並   |
| 黒点病                    | 10, 092 | 並   | <b>イチゴ (75)</b>     |      |     |
| かいよう病                  | 2, 017  | 並   | うどんこ病               | 16   | やや多 |
| ヤノネカイガラムシ              | 670     | やや少 | 炭疽病                 | 12   | やや多 |
| ミカンハダニ                 | 7, 656  | やや少 | 灰色かび病               | 22   | やや多 |
| アブラムシ類                 | 5, 800  | 並   | ハダニ類                | 58   | 並   |
| ゴマダラカミキリ               | 1, 650  | 並   |                     |      |     |